

令和6年度 第2回生徒指導研究部委員研修会

令和6年10月22日（火）15：00～

Zoomによるリモート開催

進行：尾知山稔哉

1 開 会

2 部長あいさつ及び教育講話

令和6年度研究部長	富士市立岩松北小学校長	望月 敏行
研究副部長	沼津市立愛鷹中学校長	大塚 功司

3 第2回代表者研修会報告 ※別資料②参照 （尾知山稔哉）

- ① 令和6年度研究大会のまとめについて
- ② 今後の研究大会の計画について
- ③ 令和7年度研究部費、令和6年度の会員数部員数について
- ④ 在り方検討委員会からの報告

3 研究協議

（1）令和6年度の経過報告 p1～p2 （望月 敏行）

- ・令和6年2月～令和6年10月
- ・令和6年度事業報告

（2）令和6年度夏季研究大会の成果と課題 p3～p7 （望月 敏行）

（3）令和7年度以降の夏季研究大会について p8～p9（望月 敏行）

- ・令和7年度以降の夏季研究大会開催地・発表地区ローテーション
- ・令和7年度以降の刊行物ローテーションその他

（4）令和7年度研究大会について p10～p11（藤枝市立高洲小学校長 天野和博）

4 連絡事項 （尾知山稔哉）

- ・第3回生徒指導研究部委員研修会

日 時 令和6年2月18日（火） 14：00～

会 場 静岡県教育会館 D会議室

6 閉会あいさつ

幹事代表 静岡市立観山中学校長 石川 裕

令和6年度 静教研究生徒指導研究部 経過報告

令和6年10月22日現在

- 2月— 生徒指導研究部会計監査 (2/13)
第3回静教研究生徒指導研究部委員研修会 (2/13)
生徒指導研究部引き継ぎ会 (小笠・榛原地区→富士) (2/13)
- 4月— 代表者、発表者等の集約、本部へ報告
静教研だより6月号(夏季大会案内)の原稿作成、提出
- 5月— 第1回静教研究生徒指導研究部委員研修会 (5/14)
 - ・令和5年度事業実績及び収支決算報告
 - ・令和6年度事業計画及び予算案等提案及び承認
 - ・夏季研究大会要項・予算等の提案及び承認
 - ・夏季研究大会要項を本部へ提出
 - ・夏季研究大会発表者、助言者等へガイドラインを発送
- 6月— 第1回静教研各部代表委員研修会 (6/4)
評議員会兼第1回静教研研究部代表者研修会 (6/4)
夏季研究大会事前研修会 (6/4)
静教研HPにて夏季研究大会案内公開及び参加申込開始 (6/17) ~ (7/12)
- 7月— 夏季研究大会参加者名簿作成
夏季研究大会会場(富士市立高等学校)下見 (7/9)
実践発表者及び助言者から発表原稿・プレゼン資料データの提出 (7/24)
静教研HPに発表原稿・プレゼン資料データのアップ (7/31)
- 8月— 静教研究生徒指導研究部夏季研究大会(講演会・実践発表) (8/7)
(静教研HPにて期間限定でオンデマンド配信) (8/12~8/31)
アンケート集約、本部への報告 (8/20)
静教研だより9月号(夏季研究大会報告)原稿作成と提出 (8/20)
- 9月— 研究冊子「ときめき かかわり 未来へつなぐ」原稿提出 (9/30)
- 10月— 第2回静教研研究部代表者研修会 (10/3)
第2回静教研究生徒指導研究部委員研修会 Zoom開催 (10/22)

令和6年度 生徒指導 研究部 事業報告書

研究部長 望月 敏行

静教研三大事業

研 究 大 会	日 時	令和 6年 8月 7日 (水) 9時30分～16時00分				
	開催方法	集合開催 ・ オンデマンド配信				
	会 場	富士市立高等学校				
	参加者数	参集 126 人 オンデマンド 90 人	分科会数	2 × 2 分科会	実践発表者数	4 人
	内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・研究主題 「一人一人に生きる力を育む生徒指導」 ・全体会 (午前・午後) ・講演会 (午前) 講師:高橋 典久 国立教育政策研究所 総括研究官 演題:『「生徒指導提要」を活かしたこれからの生徒指導～何のために取り組むのか～』 ・分科会 (午後) <ul style="list-style-type: none"> 第1分科会 テーマ1「生徒指導体制の確立とその推進について」 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 (静岡地区) 山下 仁 (静岡市立大里西小学校) ・中学校 (湖西地区) 茂木 典子 (湖西市立湖西中学校) 第2分科会 テーマ2「児童・生徒理解を生かした生徒指導について」 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 (駿東地区) 萩倉 康 (御殿場市立玉穂小学校) ・中学校 (磐周地区) 星井幸二郎 (袋井市立浅羽中学校) 				
調 査 研 究 活 動	事 業 名	実施内容 (実施日・会場・内容等)			参加者・人数等	
	研究主題 「一人一人に生きる力を育む生徒指導」	研究主題に沿った実践的な研修を各地区で進める 「生徒指導体制の確立とその推進について」 ・小学校 (静岡地区) ・中学校 (湖西地区) 「児童・生徒理解を生かした生徒指導について」 ・小学校 (駿東地区) ・中学校 (磐周地区)			・各地区の実践による ・児童生徒の参加なし	
研 究 成 果 刊 行	刊行物名	内 容			刊行部数・頒布先・方法等	
	生徒指導研究部研究発表資料	・実践発表資料 ・助言者発表資料			静教研 HP にて閲覧及びダウンロード (期間限定)	

研究部内の会議 (研究部委員研修会) 等

予定日時	会場・方法	事業計画の概要	参加予定人数
5月14日 (火) 14:00～	県教育会館 B会議室	第1回生徒指導研究部委員会	26名
10月22日 (火) 15:00～	Zoomによるオンライン	第2回生徒指導研究部委員会	26名
2月18日 (火) 14:00～	県教育会館 D会議室	第3回生徒指導研究部委員会	26名

令和6年度静岡教研生徒指導研究部夏季研究大会成果と課題（開催後アンケート集約より）

1 講演会について（回答者72人）

大変良かった	52
良かった	18
あまり良くなかった	1
良くなかった	0
無答	1

<上記の理由等>

生徒指導観を見直す機会となったため。
学校現場に即した多くの具体をあげて説明されていたので、納得できました。
わかっている部分が多かった
授業参観するにあたって生徒指導の視点を入れるととても見やすくなった
授業の中での四つの視点を意識させていきたいと思いました。
プロアクティブな生徒指導のあり方、特に授業における生徒指導の考え方が大変よくわかりました。
大変わかりやすく、大切な話を伺うことができました。
改めて生徒指導について学び直すことができた。
新規不登校を減らすことが、重要だと感じました。不登校児童への支援はもちろんですが、今いる児童たちにとって魅力ある学校にしていくことが大切だとわかりました。また、授業における生徒指導の話が大変わかりやすかったです。4つの視点を持って授業を行うこと、同僚と話すこと、授業を見ることなど、なんのために行うかをはっきりさせて授業に臨みたいと思いました。
実践できる内容があったから
日頃からできることがたくさんあると再認識できました。
生徒指導は授業づくりがとても重要であるということを学ぶことができたからです
生徒指導提要の理論と実践を知ることができました。
生徒指導提要の改訂の背景を理解を深められたから
分かりやすい話だった。
生徒指導提要のポイントをお示しいただきながら、自分たち教員がどのように考え、何をしなければならぬかを学ぶことができたため。魅力ある学校にするために、教師が変わらねばならないというメッセージが心に残りました。
発達支持的生徒指導の大切さと授業での生徒指導の大切さがわかった
生徒指導提要の趣旨、今後やるべきことが整理できました。職員へも研修の成果を周知していこうと思います。
盛りだくさんの内容でしたが、生徒指導提要の大切さを再認識させていただきました。
本校は研修部と生徒指導部の棲み分けとを考えていました。両者一体の考えで進めば良いと実感しました。また、授業の視点の共通化のお話に大きな感銘を受けたからです。
生徒指導提要について理解を深めることができたため
分かりやすかった。授業を見直すヒントがえられました。
資料を用いた具体的な発表であったため、分かりやすかったから。
これからの生徒指導の理論について深く学べたため。また、認め合う集団づくりの重要性に改めて考えることができたため。
不登校問題を日本の人口問題として捉えたことはなかったもので、とても大切な事象だと思いました。
生徒指導提要の内容の理解が深まったこと。また、その考え方を授業の中に展開していくという姿勢を持つ事。

生徒指導提要の内容の再確認ができ、所属校の職員へも話ができそうなことを学べたため。
授業と生徒指導のつながりを改めて気づかせていただきました。すぐに勤務校に活かしたいと思いました。
魅力ある学校が不登校改善につながることに強い感銘を受けました。学校に戻って、職員と共有したいです。また、研修にもいかしたいです。
未来志向であるべき教育が、古き良き…に染められて本質とその手段を改善出来ずにいる現状を、しっかりと否定せずにいる文科省や教育研究者が、ここ数年何を考えているのかを知ることができた。人間理解のための知識や方略、その支援や指導のための具体の一部を、これから改善していけるように協力していきたいです。
生徒指導提要の内容は知っていたことも多かった。改めて授業を中心に日頃から生徒指導に取り組んでいきたい。
生徒指導提要の考え方、捉え方を再確認できた。今後に生かしていく意欲が湧いた。
改めて学習しました。
大事なポイントを、分かりやすく話していただいたので。
生徒指導提要改訂のポイントの再確認、通知内容の再確認、今後の取組のあり方について等、内容が充実していて大変有意義であった。
やらなければならないことが、わかった気がする
自校の教員に伝えたいと思ったから。
わかりやすく、心に響く内容でした。時間の関係上、全内容を丁寧に聞けなかったことが残念です。
生徒指導提要と授業を結びつけて考えることができました。
生徒指導4つの視点を意識して、授業を魅力あるものにしていくことの大切さ(重大さ)を改めて感じる事ができたから。
社会の変化により、学校の役割が変わってきた。それは多様な意見や価値観を出し合い、自己を高め、他者を理解する場である。児童生徒が学校に集い、共に学び、生活をする場としての価値を再認識する必要がある。と理解しました。
生徒指導の基本、オーガナイズを把握することができた。
事前に生徒指導提要を読んできましたが、疑問に感じていたことなどが分かりました。
生徒指導について捉え直すことができた。
これからの生徒指導の方向性が大変よく分かった。
話を聴きながら、私がやらなければならないことが見えてきました。
生徒指導提要改定のポイント、これからの生徒指導の在り方のポイントについて改めて確認することができた。現場で見られる具体的な指導の姿について幾つも挙げながら、厳しくも温かなお言葉の数々をいただき、大変励みになりました。
日頃、疑問だったことが解決でき、毎日の授業をこれからも大切にしていける必要があると思いました。
講演会のお話がとても分かりやすかったです。問題が大きすぎて、何をしたらいいのか分からないでいましたが、少しやるべきことが見えてきました。
役員の仕事があり、全てを聞くことができたわけではなかったが、「生徒指導」について、今一度考えなおすことができた。今は、保護者や教員の考え方も変わり、不登校についてネガティブな印象も少なくなっているが、その子や日本の未来を考えたときに、やはり、不登校になってしまうことはよくないんだと改めて考えさせられた。目の前の子どもを少しでも救ってあげたい。
生徒指導要領の理解が深まったから
生徒指導提要をもう一度読んでみようと思います。
あらためて生徒指導の解釈を学ぶための良い機会になった。
これまでも「授業に生かす生徒指導」、「生徒指導を授業に・・・」という話を聞いてきて、改めてその重要性に気付くことができたから。
生徒指導のあり方について、改めて考えるきっかけになったから。授業を大切にしていきたい。具体的で分かりやすかった

授業が大事ということを再確認できた。
わかりやすい講演であった。授業での生徒指導について理解することができた。
改めた、生徒指導の基本に立ち返り、実践していくことの確認ができました。
不登校児童生徒の増加や長期化が自校でも課題になっていました。「新規の不登校を出さない」ためにどうしていくことが大事かを改めて考える機会となりました。自校に戻り、講演内容を伝えたいと思います。
生徒指導、不登校についての考え方を知った。授業における生徒指導の視点を知った。とても良い学びとなった。
新規不登校の児童を出さないことが重要であること。そのためには、生徒指導の実践上の4つの視点を意識し、魅力ある授業を構成していくことが重要。教師の言動や姿勢などを含めた変化が求められていることがわかった。
4月より初めて生徒指導をやっている、わからないことが多い中で、自分がやるべきことが見えてきたため。

2 第一分科会について（回答者 36 人）

大変良かった	23
良かった	13
あまり良くなかった	0
良くなかった	0
無答	0

<上記の理由等>

全体会で学んだ理論と実践が繋がったため。
生徒指導提要进行を理解した上での実践発表でした。今後、全ての教職員が生徒指導提要进行を十分理解し、納得して日々の教育活動に取り組むことが重要だと感じました。
各地での実践と苦悩がみえました。
これからの実践に活かしていきたいと思いました。
市の違う学校の取り組みを市して大変勉強になりました。
実践できる内容があったため
二学期からの取り組みに結びつく、具体的な取組、実践で大変参考になりました。
具体的な事例を聞くことができ、とても参考になりました。
これからの生徒指導について参考になる発表だったから。
グループでの話し合いも含めて、他校の効果的な取り組み等について伺うことができたため。
湖西中学校の研修主任と生徒指導主任が検討した授業の様子をうかがい、自己肯定感を高めるための日常からできる取り組みについて知ることができました。
①サポートルームの活用、②プロアクティブな生徒指導、と今の課題に対応する内容だったこと。
現在、本校でも取り組んでいることでもあるため、参考になりました。
小学校のサポートルームの取組を初めて聞き、とても参考になった。中学の取組も素晴らしかった。
生徒指導も、科学的な生徒理解・人間理解のために、環境と関係性、学習活動の方略を工夫しながら、進めていくことは、人権教育や特別支援教育と全く同じであるように感じています。環境の一つである教師や支援者が、どう行動しているか意識的に考えながら、支援指導していく必要があると思います。そこをよりフォーカスしていきたいところですね。いろいろと勉強させていただき、本当にありがとうございました。
発表ももちろんよかったが、そのあとの協議で各校の取り組みや意見を聞くことができた。今後の校内での取り組みに生かしていきたい
協議ができた
各地域の実践にふれ、新たに学んだこと(子どもに任せる、支えるための取組)も多く、自校職員に伝えつつ、活かせるものは反映していきたい。
実践校の取り組みについて、よくわかりました。本校でもできそうなことが見つかりました。

各校の取り組みについて、 もっと自由に話し合いをしてもよかったかな と感じました。
小学校と中学校とで比べながら実践を聞くことが できたため。
各自治体の現状と取り組みを少しでも把握することができた。
各校において 目標達成のために生徒指導上どう手立てを打っていったらよいかなど、大変きめ細かい指導が実践されている のがとても勉強になりました。
サポートルームの運営の具体についての発表では、 運営上配慮していること（登校した児童が入室しやすい動線の確保、1日の生活に見通しをもつことができるような手立て等）が本校と一致していたことで、今後の実践への自信へとつなげることができた 。また、特別支援部会の実施や全教職員との連携の仕方等、今後本校でも検討していきたいと感じる事項を明らかにすることができた。
発表、質疑、助言の言葉 全てが今後の参考になると感じました。
スタッフだったため、全部を聞くことができなくて残念 でした。分科会の話し合いに少し入れてもらえるとよかったです。
喫緊の課題への対応へのヒントが 得られたから
各地区、各校での 具体的な実践について聴くことが できたため。
各実践が、 本校だったらどのように使うことができるか、という視点で聞くことができ、収穫があった 。また、グループ協議でも、他校の様子や先生方の考えを知ることができてよかった。
中学校や他校の実践は大変参考になる 。
自校でもサポートルームを2学期から開設することになり、準備を進めているため、実践内容が大変参考になりました 。
運営に関わっていましたが、 大きな不具合もなく、参加されていた先生方が熱心に話し合いをされていた から。
生徒指導提要に向けた実践であった。 新規不登校を出さないためにも、児童生徒が心理的安全性が保たれた学校づくりを目指したい と思った。

3 第二分科会について（回答者 33 人）

大変良かった	22
良かった	11
あまり良くなかった	0
良くなかった	0
無答	0

<上記の理由等>

校則のあり方や、プロアクティブな生徒指導など、 情報共有をすることができました 。
講演会の内容とリンクして考えることが できた
忙しい中、実践し、発表してくださった。
それぞれの学校や校区の取り組みについて知ることができ、大変勉強になりました 。
各学校の取り組みがわかり、勉強になりました。 生徒指導の実践上の4つの視点を意識しながらの取り組みが伝わってきました 。
改めて校則について考えたり、今後の取組について考えたりすることができました 。
生徒指導の4つの視点について実践発表を通して学ぶことができた からです。
グループで話し合う視点がはっきりしてよかった。
実践ベース、日々の取組ベースで発表いただいたので、 共感できる場所学びが多かった です。
司会者として、発表の立ち上げから関わらせていただきました。 発表者の萩倉先生の意図するところが明確に出ていて、勤務校でも実践したい内容となった からです。
自校でもやってみたい と思える発表でした。
グループ協議で、発表を基に自校での取り組みを話せたり、相談できたりするのがとても良かったです。
様々な実践を知り、今後に生かしたいと思えた。
校則について 色々な地域の現状を聞けてとても勉強になりました 。
授業での生かし方や、心の健康観察について考えることができた のがよかったです。

どちらの実践も大変参考となった。一方で、どちらの実践にも言えることだが、中心となっている先生方以外の先生方が、どう捉えて、どう主体的に関わっていたのか、あるいは巻き込んでいったのか、はたまた他人事だったのか、そのあたりも知りたかった。
学ぶべきことが多く、またグループ協議で話ができただけで深まりました。
指導提要で指摘されていることを、具体的に進めていて素晴らしいと思いました。
校則改正など、時代に合わせた内容であった。
発表者と助言者と同じグループで大変有意義でした。
参考にしたい点がいっぱいあった
先生方の実践を聞くことができ、やってみたいと思うことが見つかった。
子どもたちに寄り添った生徒指導の実践であり、これからの生徒指導の方向性が具体的にイメージすることができました。
自己決定の場を大切にすること、校則について、というように、二つの視点で考えることができたから。
各地区各学校のいろいろな様子が知れて勉強になった。
実戦の発表ありがとうございます。
不登校生徒をなくすための、積極的な生徒指導の重要性を確認できました。
各校でも話題になっていたり、課題になっていたりすることであったため、貴重な実践発表で今後の大きな参考になった。

4 運営・その他について (回答者 54 人)

リモートで2教室つないでいたこともありますが、前半、音声が届き取りにくいところがあり、残念でした。ドライカレーおいしかったです。運営、ありがとうございました。
リモート会場の音声が聞き取りにくく、ほぼ何を言っているかが聞き取れなかった。熱心な議論が行われていただけに、隣の部屋のことも知りたかったが、それが叶わなかったのが残念だった。機器の限界なのか、話す人の位置や声の大きさ、話すスピードなのか
ありがとうございました
分科会では音声が聞きづらい場面が散見されました。
準備から運営までありがとうございました。
お弁当や受け取りシステムが今までの研修会で一番よかったと感じています。富士地区のスタッフの皆さんがとても親切にしてくださり、大変感謝しています。
講演の時間が足りなかったように感じました。実践発表の数を減らし、講演の時間を確保することは可能でしょうか。
地区によって、発表の負担が大きいと思います。静教研の在り方、持続可能か、大きな課題だと思います。
駐車場系の必要性を感じない。特に道中で立つのはいらないと思う。
お忙しい中、準備をしていただきありがとうございました。
ありがとうございました。
事前の準備等、ありがとうございました。
富士市のかぐや姫の話は初めて聞きました。興味を持ちました。全体会場のPR動画がすばらしかったです。市立高校の施設も素晴らしく、快適でした。スタッフの先生方が皆さんとても親切で、とても助かりました。生徒指導の先生方らしく人間関係のスペシャリストの皆さんのだと感じました。ありがとうございました。昼食が美味しそうでした。希望を取ったときに、学食の存在を教えていただけたら、希望したのにと、悔しくおもいました。また、問い合わせの担当の先生のお名前が読めず、連絡しづらかったので、読み方をつけていただきたかったです。
ありがとうございました。会場の都合で仕方ないですが、良い発表なだけに、オンラインでなく直接同じ教室で聞きたかったです。
暑い中、運営の先生方、本当にお疲れ様でした。お世話になりました。ありがとうございました。
会場がリモートになると聞こえにくい部分があったが、やり方が工夫されていてよかった。ありがとうございました。

できるだけ交通の便の良いところでの開催を希望します。湖西地区からだ、家を出るのが午前5時台でした。
ありがとうございました。お疲れ様でした。
暑期中、丁寧に運営してくださりありがとうございました。用事ができて途中で抜けさせてもらい、すみませんでした。
準備、当日の運営、お疲れさまです。ありがとうございました。
発表する地域も開催場所もとても負担が大きいので、改善した方がよい。朝の駐車場係の方たちがとっても大変そうでした。
リモートでの不具合が多少あったので、できれば一つの分科会は一つの教室で行いたいです。
リモートで繋ぐのは発表内容が伝わりにくい。また協議や質疑応答もやりづらかった。
これまでのご準備、ありがとうございました。
分科会を2つにした理由は、会場の広さの問題だったのだろうか？オンラインでは、聞き取りが難しく、折角の実践発表がもったいなかった。同一会場で行えれば良かったと思う。R8年度会場地区なので、その辺りを計画段階で考慮すべきだと感じた。
運営の皆様、ありがとうございました。お弁当がすごく美味しかったです。島田市にもおいしいお店がたくさんあると聞いています。ものすごく期待しています。
参集形式でしたが、リモートで声が途切れてしまうことがあったのが残念でした。運営ありがとうございました。
ありがとうございました。
発表の際、接続等丁寧に対応してくださり、ありがとうございました。
環境的にはとても快適な一日でした。ありがとうございました。
すべてリモートでも開催でも良いのではないかと感じました。
ありがとうございました。
当日を迎えるまでの間、そして研修会当日と、運営に関わってくださった先生方には心より感謝申し上げます。昼食が本当に美味しく、まるでカフェで食事をしているかのような気分がさせていただきました。様々な点で研修員が気持ちよく充実した研修をすることができるよう配慮いただき、ありがとうございました。来年度の志太地区での研究大会に向けて、大変参考になりました。
良かったこと:会場が、全て同じ階でコンパクトにまとまっていたこと。改善点:分科会でマイクがハウリングを起こして聞きにくい時があったこと
お昼のお弁当がおいしかったです。スタッフの方々が協力して運営に関わっていて、スムーズに会が進んだのでよかったですと思いました。
分科会前半のリモートによる音声不明瞭だったのが残念でした。
猛暑の中、大会の運営に御尽力いただいた富士・富士宮の皆様には、深く感謝します。ありがとうございました。
会場から少し離れているものの、駐車場もしっかりと用意されていてよかった。また、昼食が大変おいしかった
お弁当が美味しかったです。
あんなに美味しそうなお弁当だと事前にわかっていたら、ちゃんと注文したのに、残念だった。
会場はここしかなかったのか？分科会のリモートはやや聞きとりづらい。
冷房が効きすぎていてかなり寒かったです。
靴の間違ひがありました。役員の方々の温かいご配慮に感謝いたします。ありがとうございました。リモートの音声が聞きづらかったことが残念です。
駅からの案内やおいしいお弁当、会場の環境等、参加者への配慮がとても細やかでありがたかったです。参加できて良かったです。事前の準備や当日の運営、本当にありがとうございました。当日、第一分科会への変更に対応してくださり、助かりました。御迷惑をお掛けしました。
靴の件は解決できたのでしょうか？不思議と見つからないケースが多いです。今後は全員が参集しているその場で確認してもらおうと思います。望月校長先生、1年間大変ありがとうございました。

静教研生徒指導研究部 夏季大会ローテーション

1 開催地区・地域 ※令和11年度は正式な決定ではない

30	31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
東部	東部	東部	西部	静岡	西部	東部	西部	東部	静岡	西部	東部
	東②	東③	西③	静	西②	東④	西①	東③	静	西③	東①
東豆 賀茂	三島 田方	駿東 沼津	磐周 湖西	静岡	小笠 榛原	富士	志太	駿東 沼津	静岡	磐周 湖西	東豆 賀茂

8/7 8/6・7 8/5・6

東部				静岡	西部		
東①	東②	東③	東④	静	西①	西②	西③
東豆 賀茂	三島 田方	駿東 沼津	富士	静岡	志太	小笠 榛原	磐周 湖西

- 開催地区を含めた大会の在り方については、静岡県教育研究会「研究大会の在り方にかかわる提言」に基づく。(H28.9)
- 平成28年度第2回生徒指導研究部委員会確認(H28.11.11)
 - 新たなローテーション：平成31年度からスタート(浜松が静教研を離脱したため)

2 分科会担当地区シミュレーション(R6.4再計算)

No.	支部	学校数			小率	中率	10年の分科会数			10年 に	参考
		小	中	計			×20	×20	計		
1	賀茂	16	8	24	0.04	0.04	0.8	0.8	1.6	2回	5年に1回
2	田方	17	8	25	0.05	0.04	1.0	0.8	1.8	2回	5年に1回
3	東豆	12	7	19	0.03	0.04	0.6	0.8	1.4	2回	5年に1回
4	三島	14	7	21	0.04	0.04	0.8	0.8	1.6	2回	5年に1回
5	駿東	30	18	48	0.08	0.09	1.6	1.8	3.4	3回	5年に1.5回
6	沼津	20	15	35	0.05	0.08	1.0	1.6	2.6	3回	5年に1.5回
7	富士	47	28	75	0.13	0.15	2.6	3.0	5.6	5回	5年に2.5回
8	静岡	75	37	112	0.21	0.19	4.2	3.8	8.0	8回	5年に4回
9	志太	43	25	68	0.12	0.13	2.4	2.6	5.0	5回	5年に2.5回
10	榛原	12	4	16	0.03	0.02	0.6	0.4	1.0	1回	5年に0.5回
11	小笠	36	14	50	0.10	0.07	2.0	1.4	3.4	3回	5年に1.5回
12	磐周	37	16	53	0.10	0.08	2.0	1.6	3.6	3回	5年に1.5回
13	湖西	6	5	11	0.02	0.03	0.4	0.6	1.0	1回	5年に0.5回
計		365	192	557							

※小中一貫校は、小中両方でカウント。静大附属小・中は、カウントなし。R4.10.25 加筆修正

- 平成28年度第2回生徒指導研究部委員会確認(H28.11.11)
 - 新しい分科会担当は地区の学校数によって決める。
 - 新しい分科会担当地区は、**令和6年度以降の案分率により令和11年度以降は変更あり。**
- 平成29年度第2回生徒指導研究部会確認(H29.10.24)
 - 平成31年度から2分科会4レポートに変更する。(H30年度まで3分科会6レポート)
 - 平成31年度からの分科会テーマは、第1分科会、第2分科会のテーマを残し、今までの第3分科会のテーマ「いじめ・問題行動・不登校への取り組み」は、第1や第2に含めて発表できる。

3 分科会発表分担

	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	
1	小	志太	富士	榛原	静岡	志太	田方	静岡	富士	三島	磐周	静岡	富士
1	中	磐周	小笠	賀茂	駿東	富士	沼津	湖西	志太	静岡	東豆	志太	小笠
2	小	駿東	湖西	静岡	磐周	東豆	富士	駿東	賀茂	小笠	静岡	沼津	湖西
2	中	志太	静岡	志太	三島	小笠	静岡	磐周	榛原	駿東	富士	田方	静岡
3	小	浜松											
3	中	沼津											

令和2年度以降の静教研刊行物執筆者一覧

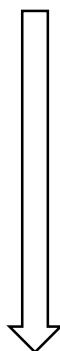
生徒指導研究部

年度	研究冊子 「ときめき かかわり 未来へつなぐ」			静教研だより(1月発行)		
	静岡	静岡	静岡	東部	中部	西部
R2		静岡		/		
R3	賀茂					
R4			磐周			
R5		静岡				
R6	東豆					
R7			湖西			
R8	駿東					
R9			小笠			
R10		静岡				
R11	沼津					
備考	※平成31年度より、静教研だより1月号の研究部実践報告はなくなった。 ※「静教研だより」6月号、9月号は、事務局長が作成。					

静岡・静岡・静岡のローテーション

年度	研究冊子 「ときめき かかわり 未来へつなぐ」			静教研だより(1月発行)		
	静岡	静岡	静岡	東部	中部	西部
R2		○		/		
R3	○					
R4			○			
R5		○				
R6	○					
R7			○			
R8	○					
R9			○			
R10		○				
R11	○					

各地区内でのローテーション



賀茂	静岡	榛原
東豆		磐周
駿東		湖西
沼津		小笠
三島		志太
田方		
富士		

令和7年度 静岡県教育研究会生徒指導研究部夏季研究大会 案

- 1 期 日 令和7年8月6日（水） 午後開催
- 2 会 場 プラザおおるり （島田市中央町5-1）
参集及びオンデマンドのハイブリッド形式
- 3 研究主題 「一人一人に生きる力を育む生徒指導」
テーマⅠ 「生徒指導体制の確立とその推進について」
テーマⅡ 「児童・生徒理解を生かした生徒指導について」
- 4 発表地区 小学校分科会（テーマⅠ）富士地区（テーマⅡ）賀茂地区
中学校分科会（テーマⅠ）志太地区（テーマⅡ）榛原地区
- 5 日程
12:10～12:30 受付
12:30～12:40 全体会 ※会場：ホール
12:40～13:50 講演会
(講師：常葉大学 太田 正義 教授 依頼中)
13:55～14:05 移動、休憩、発表①準備
(小学校分科会会場：ホール、中学校分科会：大会議室)
14:05～14:25 発表① 小学校分科会(テーマⅠ)富士発表
中学校分科会(テーマⅠ)志太発表：大村中
14:25～14:55 質疑・協議
14:55～15:05 指導助言
15:05～15:20 休憩、発表②準備
15:20～15:40 発表② 小学校分科会(テーマⅡ)賀茂発表
中学校分科会(テーマⅡ)榛原発表
15:40～16:10 質疑・協議
16:10～16:20 指導助言
16:20～16:30 アンケート記入等

※これまでの「終日開催」を「午後開催」へ変更する提案

※午後開催にした場合、全体会Ⅱをやめ、分科会ごと各会場で終了
(次年度開催地区大会実行委員長挨拶なし)

※実践発表分科会についての提案

これまでの「テーマ別」の分科会を「校種別」の分科会へ変更する提案

※分科会：実践発表20分、質疑・協議30分、指導助言10分

令和7年度 夏季研究大会計画書

研究部名 生徒指導 研究部 望月 敏行

開催日 (開催期間)	8月 6日 (水) 午前 ・ <input checked="" type="radio"/> 午後 ・ 終日 オンデマンド配信 8月12日 (火) ~ 8月31日 (日)	
開催方法	<input checked="" type="radio"/> 集合開催 ・ リアルタイム配信 ・ <input checked="" type="radio"/> オンデマンド配信 ハイブリッドの場合は複数に○を	
会場	プラザおおるり (<input checked="" type="radio"/> 集合同会場 ・ 配信会場 ・ <input checked="" type="radio"/> 録画会場)	
大会テーマ	一人一人に生きる力を育む生徒指導	
内容	午後… 全体会、講演会、 分科会 (実践発表①②、研究協議①②) ※分科会数 (2) ※研究協議 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)	
講演	講師氏名	太田 正義 (依頼中)
	所属・肩書き	常葉大学准教授
	テーマ	未定
令和8年度研究大会の開催地域		令和9年度研究大会の開催地域
駿東・沼津		静岡
全国大会等の有無	令和 年度 (全国・東海北陸・関東都県・中部地区) 大会	
備考	令和7年度 夏季研究大会実行委員長 (予定) 氏名 (山田 誓午) 校名 (島田市立金谷小学校) 令和7年度 夏季研究大会事務局長 (予定) 氏名 (森 香織) 校名 (島田市立六合小学校)	